

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	6-1
PDCA	主要事業名	庁舎維持修繕等事業	部課名	総務部総務課	担当	246	
					内線	木原	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 3 - 1 単位施策： 行政運営 全体事業期間： 令和 年度 ~ 年度 全体事業費等： 5,000 千円 会計 一般会計 歳出科目： 02.01.05.10.51						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	事業概要等	事業概要： 市庁舎の適正な管理運営のため、老朽化や環境の変化に対応するための修繕を実施する。					
		事業目的： 市庁舎の維持管理					
		事業内容： 施設や設備の長寿命化を図るための修繕等を行う。令和5年度は消防設備や照明機器、空調の修繕や、各種設備の改修工事等を行う。					
		問題点： 課題等： 可能な限り経費の抑制を図る。					
	予算額	主要事業とする理由					
	5,000 千円	庁舎建設から約9年が経過し、施設や設備の修繕等の必要な箇所が少しずつ増加してきており、適時適切なメンテナンスが必要であるため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費 5,000 千円	令和5年度は、消防設備の更新や空調、照明設備の一部の修繕を実施することで、来庁者・職員が安心、快適に利用できる施設になる。					
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態					
県費 0 千円	施設の老朽化や社会環境の変化に対応しつつ、速やかな修繕等を施すことで、施設、設備の長寿命化につながる。						
その他 0 千円							
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果					
	7,014 千円	令和5年度は一部の設備の更新が先送りとなる中、計画した消防設備、主要な空調設備を修繕し、来庁者・職員が安心・快適に利用できる環境を整えた。					
		成果指標					
C 課題の整理	事業の評価・課題	老朽化や社会環境の変化に対応するための修繕等を施すことで、施設や設備の長寿命化につながる。					
		年次計画をたてていた消防設備を中心に修繕し、安心・快適に利用できる施設環境を整えた。一方で、供用開始9年を経過し、突発的な修繕対応が増加する傾向にあり一部の照明制御装置や空調設備等の補修を先送りせざるを得なかった。これらの設備修繕等の遅れに起因して、庁舎の基本機能をいかに維持するかが継続的な課題となる。優先順位の明確化、費用対効果の最大化を念頭に、今後も適切に施設管理していく。					
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	拡充推進 庁舎は供用開始後10年目に至り、今後は、適切な維持修繕に加えて、大規模な設備改修等（照明設備LED交換や非常発電機設備更新等）が必要となる。行政サービスの中核的な施設としての機能を長年に渡り維持するうえで、修繕の年次計画を適宜見直しつつ、設備類の計画的な改修等も同時に進めていく。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 -	⑦コスト削減 減余地 ※手段の変更 ある			
②市民ニーズ -		⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない				
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない					

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用